

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)		*	*	*
		商店街（代表者）	お客様の様子	・不動産の価格が上がった等、皆、景気が良くなったと言っている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・前半は高校総体の一部が当地域で開催され、観覧者、参加者でにぎわった。中旬は台風の来襲で前半の効果はゼロとなったが、全体的にはまあまあな月となっている。
		一般小売店〔惣菜〕（店長）	来客数の動き	・近くの百貨店が閉店してから来客数が伸びている。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・お盆休みの日並びが良かった。また、夏休みの分散取得が進んでいることから、8月全体で活発な消費が見受けられた。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・連日の暑さに来客数が減少し、より消費が弱くなると想定していたが、高額商品の購買やインバウンドが売上を下支えしている。
		百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・物産展の好評により来客数が増加した。それに伴い店内の買い回りも伸び、店頭売上も好調に推移している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・全国産地直送セールや、他の企画セールがヒットした。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・売上は前年比で102%、予算も101%と良い結果を残すことができた。
		スーパー（経営企画担当）	それ以外	・施設等への納品量が増えつつある。また、8月から件数も増えている。
		スーパー（ブロック長）	単価の動き	・野菜の相場高と猛暑の影響もあり、売上高は予想よりも好調であった。特に客単価が好調に推移している。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・猛暑の影響により、飲料の売上が増加した。天候不良の悪影響もあったが、それを上回る効果があった。しかし、メーカーの欠品が発生し、チャンスロスも出ている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・8月も引き続き猛暑で冷たい物が売れた。台風が多く、来客数はそれほど伸びなかったが、客単価がけん引し販売量も増加している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・店の周囲の地区再開発が始まり、その工事需要があり、僅かながら来客数の増加につながっている。
		コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・夏季に関しては猛暑日が続いたが、小売を主体に鑑みれば売上増につながる好条件だった。事実、来客数も前年を超え売上高は好調だった。今後も予報では高い気温が継続するとのことで、継続して来客数アップが見込める。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・8月単月としては、ハイブリッド車を中心に目標値を達成し、前年比で100%を超えてきている。ガソリン価格が高止まりしていて、しばらくは様子見の感じであったが、意外な結果に少し驚いている。客の話だと、ガソリンが高いので、更に燃費の良い車に買換えたいという声も多く、それが実際の成約に結び付いている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・例年、夏季休暇を挟んで販売量が落ちるが、今年は順調に受注も伸び、3か月ほど継続している。ただし、来客数の絶対数は減ってきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少し暑さに慣れたのか来客数が多くなった。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・小口団体客の問合せ件数が、若干増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・暑い夏で、僅かながら夜の街には人出が多く、タクシーの利用も少々増加した。
	タクシー運転手	お客様の様子	・8月は猛暑が続き、連日朝の予約が殺到した。日中も近くのスーパーへの買物を始め、病院等に行く客も非常に多かった。8月は野球、大規模イベント、結婚式等、イベントも非常に多かった。猛暑のお陰で客が多く、前年比で2割ほど売上が増加している。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・夏休みで来客数が伸び、販売数も増加した。	
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・8月からキャンペーン販売が始まり、売上が増加した。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・さすがにこの酷暑で商店街へ来る人は減っている。	

商店街（代表者）	販売量の動き	・写真写りが良い、客のニーズに合っている食品は売上が増加しているが、その他の商品、レギュラー商品については1割5分ほど売上が減少している。
商店街（代表者）	販売量の動き	・今季は定番商品はそこそこ売れているが、季節商材が伸び悩んでいる。
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・この猛暑がどのように景気に影響するか気になる。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・ずっと悪い景気が続いている。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・8月は企業や医者のお盆休みの影響が2週間ほどあり、薬局やドラッグ関係、一般の小売関係の業種にとっては厳しい月であり、3か月前と比べれば売上は落ち込む。ただし、夏物の栄養剤、ドリンクなどは好調である。いろいろな店主と話をしたが、地方の小売店は落ち込みがひどい。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・8月は動きが少ない。したがって、売上は前年より若干減少しているが、この3か月間の合計で考えると、余り前年同期で変わらない。自分に対する金は使うが、他人に対しては金を使わない。ただし、一部の大手企業を中心に、広告宣伝費、交際接待費が増加し、そこで売上を稼いでいるが、全体を捉えると3か月前とほとんど変わらない状況である。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・猛暑で外出を控えるようにとの報道もあり、飲食店への外出が控えられ、飲食店への来客数が非常に悪かった。
一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・今年は雨が少なく猛暑続きで花も高騰した。お盆の花も暑いので持たないからと墓参りの花を減らしたり、葉物だけにする客もあって、売上に僅かながら響いた感がある。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・8月の前半でクリアランスも縮小し、今はほんの少しだけになり、まだ秋冬物の納品がないため売場は中途半端な状態になっている。金曜日は会社帰りの来客数は多いが、店内をぶらぶら歩いているだけで、売場の滞在時間は長いが購入する客は少なく、売上は厳しい状況である。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・景気自体は余り変化がないが、台風、酷暑等、天候不順による消費マインドの低下がみられる。
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・例年は来客数の多いお盆マーケットであるが、暑さの影響は少なからずあり、来客数、販売量は減少した。インバウンドはお盆を避けているようで、後半に伸びたが波が激しい。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・猛暑が続き今まで経験したことがない異常気象が起こっている。高齢者にとっては余りにも暑く、日中の買物を控えたため売上が減少した店もある。また、購入したエアコンが設置工事者不足で工事が大幅に遅れていた。また、夏休みでお盆を兼ねて実家に帰る人が多く、金も余り使わず節約志向で旅行をする人が多かったので、全体的には余り消費が進まず横ばい傾向であった。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・自店舗の売上は前年比を超える状況であるが、取引先の情報によると、この地域周辺で前年比をクリアしている店舗は皆無とのことである。それだけ、客がシビアに買物する店を選んでいる証拠でもある。
スーパー（店員）	販売量の動き	・販売量がずっと低迷した数量でしか動いていない。
スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・8月は高温の日が続き来客数が前年比98%と来店頻度が低下しているが、1人当たりの購入量は増加している。店計では前年比をクリアしている。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・イベントの広告がある日は、販売量は増加するが、ふだんの日々の状態は販売量、来客数共に少ない。平均すると変わらない。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・ドリンク、アイスは売れている。一部ドリンクはメーカー欠品でチャンスロスである。暑さで昼間の客はいない。野菜が高いので特売すると来客数がすごく増える。しかし、売上は今一つである。
コンビニ（企画担当）	単価の動き	・気温の影響で飲料やアイスの需要は大きく伸びた。一部は品切れ供給不足になるほどである。しかし客単価に前向きな手応えはまだ薄い。

コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・酷暑の影響で、客足が遠のき気味であったが、この状況を引っ張って続きそうな流れがある。また、激しい気候変動の影響で、本来の秋のシーズンが従来のような流れでは訪れず、今の時期に売れる商材の販売量が鈍くなっている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月は天候に助けられて前年並みの来客数があるが、特需的な色合いが濃い。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は、前月と比較して前年比で1.5%改善しているが、全体の売上は、来客数がこの状況なのにマイナス0.5%であることから、キャンペーンによる誘導が多くあったが、客単価への貢献が低い。
コンビニ（店員）	来客数の動き	・お盆期間があり、帰省や行楽に出掛けた人が多い。後半はセールやスマートフォンアプリでのプレゼントがあつて忙しくなったが、平均すると余り変わらない。
衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・定番商品もなかなか動かない。来客数も少ない。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・猛暑でエアコンと冷蔵庫の販売台数が伸びているものの、取り立てて良い商品が選ばれている様子もない。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・猛暑により、エアコンの販売量が伸びているが、一時的なものであり、夏が終わればその反動が来る。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型車種が出ないこともあるが、なかなか販売台数が伸びない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・大規模、中堅企業に勤める客は余裕があるように見受けられるが、小規模企業に勤務する人や個人経営者はなかなか厳しい様子である。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・全体的な動きとしては、悪くない状態が続いているが、良いかどうかは微妙である。単価の動きも安定しているが、特に良い材料がない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・8月は夏季休暇があり、さらに、非常に暑い日が続いたため、来客数も伸び悩み、客との接触回数も減少した。客との話題においては、休暇中に家庭内でのいる出費があつたので、なかなか大きな買物にまで考えが及ばないという厳しい話もあつた。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・客の様子からは変化はみられないが、販売量が減少していることもあり、景気は良くない状態が続いている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は前年と比較して増えており、8月に至っては目標を達成している店舗も多く、会社の販売目標を達成している。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・夏休み中で、来客数が減った。
住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・分譲マンション、戸建て住宅共に新築は動きが余り良くない。ただ、耐震やリフォーム工事については消費税の引上げ前の需要も出ている。他に大型現場、大型商業施設等についての動きも良くなっている。
その他専門店【書籍】（店員）	来客数の動き	・当地は大手自動車メーカー関連の企業が多いため大型連休の企業も多く、お盆休みも比較的天候に恵まれレジャー等に流れ、来客数が前年よりも1割近く減少した。
その他専門店【貴金属】（営業担当）	単価の動き	・夏は遊びやリゾートに金をかける割に、高額な金製品も売れており、3か月前と比べても景気が悪くなっているとは思えない。
その他小売【ショッピングセンター】（経理担当）	販売量の動き	・は行性があるが、前年比マイナスの月が多い。ただし、一本調子ではないのがまだ救いである。
高級レストラン（経理）	来客数の動き	・今月前半、お盆までは前年を超える推移であったが、後半は渋い動きである。イベントやハレの日需要と節約志向とが混在しメリハリのある消費であった。また、猛暑等から外出を控える動きもみられた。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・郊外店なので新規客は少なく、なじみ客の来店という形がずっと続いている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・依然として一般企業サラリーマンの消費マインドは変わらず低迷している。
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・8月は例年並みに家族連れも多かった。

スナック（経営者）	来客数の動き	・今年ほど猛暑が続くと、やはり客足は伸びなかった。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・異常な猛暑による影響は業界によって相反するが、当業種では正直きつい。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	お客様の様子	・質の高い物や、生活を改善できる提案型の商品に対しては、購入したいという意欲が高い。
都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊は、直近での予約が中心である。前年比で弱い動きのレストランは、天候の影響が客足が鈍い。
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・客の動向や受注状況をもても変化はない。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・ターミナル駅前の大規模ビルの飲食店では、開業時に好立地といわれて個人商店が株式会社化して入居したが、飲食店同士の競争激化とコスト高の影響により撤退、若しくは撤退希望が出ている。特にアルバイトの獲得ができず賃金の高騰により店舗の効率が悪化している。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・ここ数年猛暑が続き、社員旅行や組合行事等を秋にずらして実施する傾向があり、夏の取扱いは低迷している。数か月前から計画していた旅行行程も、猛暑を懸念して直前に行き先等を変更するところが数件あり、対応に追われた。
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街で仕事をしているが、人出が増えてこない。飲食店も暇である。景気の良い話はほとんど聞かない。まだまだこの状況が続く。
通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新規販売より、解約の電話が増えている。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・機器等の販売について、現状維持の状態が続いている。
観光名所（案内係）	お客様の様子	・8月も富士山に行っていたが、富士山の客は日本人が減少してきている。外国人は多いが、金を持っていない人が多く、5合目の売店、食堂はそれほど混雑していない。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・8月は台風や猛暑のため天候的には恵まれず、予算よりは来客数は大きく下回っている。しかし、前年と比べると来客数はほとんど変わりなく推移している。よって、3か月前と比べても景気は余り変わっていない。
美容室（経営者）	お客様の様子	・8月は大型の休みを取っている人が多いが、客の話を聞いていると出掛けた人が少ない。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・大きな変化はみられない。
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・新築注文住宅の着工数が伸びていないと同業他社はいっている。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来客数は減少しているが、少数ながら真剣な方は増えている。消費税の引上げを気にしている客が増えている。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	お客様の様子	・買い希望の客の予算が一向に上昇する気配が見えない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・このところ、上得意である客の支払が滞っている。今までにはみられなかったことで、困惑している。
商店街（代表者）	お客様の様子	・周辺の会社の人に聞いても余り良くないと聞く。飲食店も長続きしていない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・夏季休業期で客の購買力が上がらず、受注が伸びない。
百貨店（計画担当）	来客数の動き	・猛暑と大雨という気象の影響で来客数の増減が日によって大きく、婦人服を中心に売上が苦戦している。
スーパー（店員）	お客様の様子	・8月は帰省先への果物や贈答品用のお盆特需を期待したが、8月初めから中旬にかけて高温注意情報が日中ずっと発令されていて、客足がびたりと止まった。手土産として包装する頻度も、思っていたよりも少なかった。
スーパー（商品管理担当）	販売量の動き	・猛暑でドリンク類が売れているが、平成30年7月豪雨の影響で商品の一部が入荷しない状態で、本来売れるべきスタミナ回復食品の売上が今一つである。連続した台風の影響も大きい。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・8月は猛暑の影響で、子供や学生の来店がかなり減少し、売上にもマイナス要因となった。

	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑で来客数が極端に落ち込んだ。元々在庫を控え目にしており、これで正解だった。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・7月に猛暑、酷暑となり季節商材のエアコンと冷蔵庫は大幅に売上が増加したが、8月に入りエアコンと冷蔵庫の売上が止まったため、前年に比べ低迷した結果が出ている。景気が上向きかという点では厳しい状況になる。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・前年は大河ドラマの関係で11月頃まで関連の団体客、個人客が来店していたが、今年は話題性もなく、反動で10%近く来客数が減少している。したがって、景気は悪くなっており、この傾向は11月まで続く。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・民泊等、宿泊需要の多様化が進んでいる。
	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・記録的な猛暑、豪雨、台風等の天変地異が続き、旅行を中止したり、計画する意欲が減少している。ダメージや風評被害も発生しており、旅行需要と収入の減少が旅行業、観光業にはきつい。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・8月は毎年、営業的には苦戦をする月ではあるが、加入件数は例年以上に伸びず、解約件数は増加している。
	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・例年と比較して猛暑日が多く、屋外施設が主体となる当園は厳しい状況であった。9月も引き続き暑い日が多くなるとの予報で危機感をもっている。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や客単価の動きで判断した。
	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・平成30年7月豪雨での災害により観光列車や臨時列車の運休を余儀なくされ、低迷している。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・8月は例年お盆で忙しい時期であるが、来客数が減少した。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・当地は景気が良くない。客も金を使わない。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	お客様の様子	・介護保険制度の改正により、8月から個人負担割合が3割に引上げとなる客がいる。福祉用具レンタル契約の客は、この先の負担が増えてしまうので、安く買い取れる中古品の問合せが増加中である。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	それ以外	・障害者就労支援施設における作業依頼のうち、自動車部品組立ての件数が、かなり減少してきている。
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・同業者も、フリー物件も購入者も少なく沈滞ムードである。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・戸建て住宅やマンションの外装塗装が増加しているが、足場材料費、人件費が上がって利益が残らない物件もある。景気はまだ上がらない。
	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	来客数の動き	・お盆明けから受注がピタッと止まってしまった。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響もあるが、来客数が少ない。購買動機も要因も少ない。
×	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・平成30年7月豪雨とその後の台風により、宿泊者のキャンセルが個人、団体を合わせて1,000名を超す事態となった。客室だけでなく宿泊宴会も含めると、その売上は全体収入の2割を超す減収にあたり大打撃といえる。
×	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・JR不通等、災害の影響が継続している。
×	美容室（経営者）	お客様の様子	・今年の夏は40度近い気温で、来客数も減少し暇であった。
×	理容室（経営者）	お客様の様子	・客のサイクルが遅い。
企業動向関連	-	-	-
(東海)	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響により飲料関係の需要が増加したことにより、容器の販売が増加した。半導体向け需要は引き続き好調である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック、働き方改革絡みの需要が高まっている。問合せの伸びに合わせて売上也伸びている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社のオリジナル商品の椅子が、営業努力によって生産量、出荷量共に増加している。

電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・放送系、通信系の情報インフラ強化のための設備投資が盛んである。4K・8K放送や通信スピードの高速化のため設備増強の動きが活発となっている。関連機器メーカーやネットワーク構築事業者の受注が多く、対応人材の不足もあって需要過多の状況となっている。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが4.5%増加と良くなっている。
通信業（法人営業担当）	それ以外	・8月3日に提出された経済財政白書によると、2012年末からの5年半の景気回復が2002～08年の73か月に次ぐ戦後2番目の長さとなったことは大きい。世界経済の回復、女性や高齢者の就職促進等、雇用環境の改善、企業のAI等新技術への投資や、大手自動車メーカーの4～6月期純利益が6,573億円と3年ぶりに更新したこと等も要因である。
不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴天が多いこともあり、売上は好調に推移し前年同月を上回っている。駐輪場は低額で利用できることもあり、必要な出費を惜しむほど景気は悪くない。
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注価格や販売価格の動き	・取引がない新規客からの案件が増えてきている。前年にはなかったことである。
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・8月も相変わらず新製品で大変忙しい。複数の取引先からも発注があり、来月も繁忙が続く。
食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑といわれる割には売上は芳しくない。消費者の選択の幅が広がっており、常に新しい価値を付加していかなければ、支持が得られないことを実感する。
食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・受注数、販売数からみても、トータルすると例年どおりである。
化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・生活必需品、特に食料は値上がりが目立っている。また、スーパーのチラシの頻度が増え、多くの消費者が常に値ごろ感のあるものを求めている。
化学工業（総務秘書）	それ以外	・昨今特に感じることは人手不足、給与条件のアップである。フルタイムでない労働者の条件は、無期雇用と人手不足から20%ほど急激に上がった。より良い条件を求めて定着率も急激に下がり、求人や人材育成の繰り返しにより正社員の仕事を増やし、忙しくしている。
鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鉄鋼メーカーの一方的な値上げが続いており、売値がそれについていけず、利益率を圧迫している。
金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えない。販売価格は値上げをしてくれているが、旧価格での受注が80%くらいある。
金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・改修物件も含め、物件の動きは活発化してきたが、材料費の値上げもあり、収益的に喜ばしいことばかりではない。
電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・余り変化がない。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月間は受注量、販売量、生産量共に横ばい状態が続いており、今後も変わりなく推移する。
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・お盆休みに海外旅行等に行った同僚がたくさんいる。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・1日当たりの売上高は、3か月前と比べて同じである。平成30年7月豪雨の影響があり一時低下していたが、今は戻ってきている。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸出入に影響を与える要素はなく、季節的変動の中で動く。
輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・今期に入り輸送物量は前年同月の実績を下回っており、景気自体は芳しくない。全体的な景気が上向きような要素には乏しい。
通信業（総務担当）	それ以外	・8月の台風被害、猛暑等の異常気象は、人のやる気や活動予定を制限したり、中断させたりしている。日々の必需品以外は当然買い控えるため、購買が消極的になっている。この傾向はしばらく続く。
金融業（従業員）	取引先の様子	・さほど目立った景気の良い話は聞かない。

	金融業（企画担当）	取引先の様子	・株価、為替も大きな動きはなく、個人投資家の動きも鈍く様子見である。個人投資家以外の個人も収入が大きく増えていることはなく、大きな消費には向かっていない。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・価格も物件も大きな変動はない。
	不動産業（用地仕入）	受注量や販売量の動き	・特段のトピックスはない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新規受注も多少はあるが、逆に実績のあるものが減少する傾向があり、余り変わっていない。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・異常気象により野菜等を運んでいる業者は、出荷量が安定しないため減収気味である。
	公認会計士	それ以外	・大企業の業績は好調であるが、中堅、中小企業の業績は厳しい。中堅、中小企業の従業員の給与は上昇していない。株高に関して、上場会社、新規上場、資産家には好況感があるようだが、中堅、中小企業のオーナーや従業員の感覚とはギャップがある。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・各業界で全体的な底上げがみられない。小売店についていえば、総合食品売場のある大型店は連日活況であるが、小規模食品店については成績が良くない。また、建設業でも大手企業に受注が集中している傾向にある。傘下から外れた下請企業は大幅な減収となっている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響もあり、特に農産物、青果物等が受注量、販売量共に減少し、全般的にも景気はやや悪い。
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・臨時の注文や納期の前倒しの依頼が一段落して、半年くらい前の状況に戻った。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米、南米共に自動車向け設備投資の引き合い、受注の量が回復しない。
	輸送業（経営者）	それ以外	・燃料価格の高止まり、人手不足による募集費や派遣人材の多用により、大きく利益が下がっている。
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・現在住んでいる住宅の近隣は通勤族の多い地域でマンションやアパート等借家が多い。8月は通勤の時期で、例年は引っ越しをする人があちらこちらでみられるが、今年はなく異動が少ない。
	通信業（法人営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・下半期の事業計画を立てるにあたり、手持ちの案件や受注見込みを洗い出し計画に反映するが、誰一人、受注確度の高い案件を形成できていない。問題なのは、案件の少なさもさることながら、毎年コンスタントに売上を出せる営業マンでさえ、苦勞を強いられている現状である。
	会計事務所（職員）	それ以外	・通っているジムで、従来より安い会費のコースが新設された。また、有料ロッカーの空きが増えている。
	x	-	-
雇用関連			
(東海)	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・夏季のイベントも天候に恵まれ好調だった。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にある反面、小規模ながら倒産、人員整理等もみられる。
	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・引き続き企業側の採用意欲は旺盛であり、9月半期末に向けての採用の動きは加速している。
	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・特に変化はない。
	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・景気好転との予測により増産や販売強化をもくろんでも、人材不足で動きが取れない状況が続いている。また、働き方改革による時間外労働の規制強化が、企業の攻めの戦略を塞いでいる。
	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・人材派遣の求人数は引き続き堅調で、専門性が高い職種に関しては時給が上昇傾向にある。
	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・景気回復による求人数増加の動きはほとんどみられない。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価が2万2,000円台で推移している。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・国内自動車販売、海外輸出共に3か月前に比べ微増である。下期に向けても期待がもてる。
	新聞社【求人広告】（営業担当）	採用者数の動き	・各事業所の求人数に対するエリア内の求職者数が少なく、採用計画数に充足していない事業所が多い。

	職業安定所（所長）	採用者数の動き	・管内に大口の倒産等はなく、企業経営は安定しているが、新卒の採用選考、内定等の準備もあり、非正規の採用に比べ正社員の中途採用は余り進んでいない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者の減少傾向が加速してきている。企業にとっては人手不足がますます厳しくなっている。
	職業安定所（次長）	周辺企業の様子	・業績好調な企業の声も多く聞かれる一方で、中小零細企業では、人手不足、原料費や運搬・輸送費の高騰等を理由に利益が上がらないとの声を聞いた。
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・引き続き、自動車関連企業を中心に多くの引き合い残があるものの、エンジニア稼働率は全社平均より約2%低いため、やや悪くなっている。
x	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求職者数の動き	・人が足りないという話が多く聞かれるようになってきた。どれだけ募集しても集まらない。